

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	T X 沿線整備地区の字の区域の名称変更事業			会計	款	項目	大事	小事	
政策	06	公・民バ・トナ・シップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		01	02	01	17	01	52
施策	6-2	健全で効率的な行政運営		主管課		総務課			
				主管課長		菊池 義博			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	T X 沿線 5 地区の土地区画整理地域内の住民	意図	土地区画整理事業の換地処分に併せ、字の区域及び名称の変更を行うことで、行政区域の整備を図り、地域内の住民の利便性の向上に資する。
事業内容	平成30年度においては、平成31年度に換地処分が行われる新市街地地区及び西平井・鱒ヶ崎地区の字の区域及び名称の変更に向けて、変更関係業務の委託契約を締結したほか、庁内各課及びUR、流山警察署、郵便局その他の関係機関との連絡調整を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・新市街地地区...土地区画整理事業の換地処分期日が令和元年5月10日に決定し、これに合わせた地名、地番変更業務を進めた。 ・西平井・鱒ヶ崎地区及び鱒ヶ崎・思井地区...西平井・鱒ヶ崎地区については、換地処分に向けて変更関係業務を進めた。 ・木地区...平成29年度に字の区域及び名称の変更の議決を得ている。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		行政区域制度審議会開催回数	3	0	0	回	
	市議会への議案提出	0	1	0	回		
指標で表すことができない定性的な成果					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・新市街地地区及び西平井・鱒ヶ崎地区地区は、換地処分期日に向けて、住所変更等に係る変更関係業務を確実に進める。 ・鱒ヶ崎・思井地区及び木地区については、市議会の議決を得ており、土地区画整理事業の進捗状況を考慮し、施行者との連携を密にし、換地処分に向けた準備を進める。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,375,400	7,200,600	42,987,320			
事業費(b)(円)		883,400	1,831,000	35,800,920			
うち一般財源		883,400	1,831,000	35,800,920			
職員給与費(c)(円)		5,492,000	5,369,600	7,186,400			
人役・職員(人)		0.80	0.80	0.80			
人役・再任用(人)				0.80			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	各土地区画整理事業地区の進捗状況を把握し、換地処分に合わせた住所変更等の関係業務を着実に進める必要がある。
H30に実施した取組(Do)	新市街地地区については、換地処分期日（令和元年5月10日）が決定したことにより、住所等変更関係業務の委託契約を締結した。

取組における課題(Check)	換地処分に合わせた住所変更等について、対象地域の住民が困ることのないよう周知するほか、問合せへの対応を確実にを行う必要がある。
課題に対する今後の改善計画(Action)	西平井・鱒ヶ崎地区、鱒ヶ崎・思井地区及び木地区についても施行者との連携を密にし、換地処分に向けた準備を進める。